



70年目の節目からステップアップ ～東中の未来へつなぐ体育大会に～

9月21日(木) 体育大会を行いました。台風の影響のため順延し平日開催となってしまいました。にもかかわらず、多数の地域の方や保護者の方にご参観いただく中、熱気に満ちた体育大会を実施することができました。昨年つくった70周年記念曲のファンファーレ「未来への幕明け」から始まり、マーチ「勝ち鬨をあげよ」にのって気合のこもった行進を行いました。その表情と凛々しい態度から、みなぎる意欲と東中生としてのプライドを感じ、とても頼もしく思いました。

今年の体育大会のスローガンは「我竜天晴 ～飛翔する五色の魂 大空へ～」。このスローガンには、「自分たちが竜となって青い大空へ飛んでいく」という意味が込められていました。「大空へ飛んでいく」というのは、全力を出し切り、自分の才能を爆発させるという宣言です。その思いに十分応え得る東中生の取り組みで、競技も応援も生徒一人一人がキラキラ輝いていました。応援合戦では、5つの団がそれぞれ工夫し、個性あふれる内容で甲乙つけがたいものでした。

結果としては、競技の部では薔銃(黄)団が、応援の部では豹燐(橙)団が優勝しましたが、勝った団も負けた団もとても素晴らしい内容でした。

応援合戦 女子団長の口上 ～団員へのメッセージ～

薔銃

俺たち薔銃は天目山の頂を薔銃の花で満開にするため、仲間を信じ歩んできた。

いよいよ決戦の時だ。

薔銃のみんな、これまでついてきてくれてありがとう。

伝説に残る薔銃の輝きを魅せつける

薔銃団長 梶川梨理香



豹燐

俺たち豹燐は、太陽の光を浴び、鮮やかなオレンジに染まる。

そして、豹のような力強さで、勝利という名の獲物にくらいつく。

豹燐のみんな、ついに俺たちの力を見せつけるときが来た。

最後の最後まで、全力で闘おう。俺たち豹燐、絶対王者！

豹燐団長 小島萌々果

麗舞

我ら麗舞は、美しい羽を持ち、

この天目山の空へと舞い上がる。

麗舞のみんな、

仲間・先生・家族・すべての人に感謝をし、

最後の応援を心の底から楽しもう！

麗舞団長 岡江未莉

醒嵐

俺たち醒嵐は、今日まで全力で走り続けてきた。

今、この瞬間、優勝をつかみ取り、笑顔の花を咲かすのは、俺たち醒嵐だ。

醒嵐のみんな、今日までついてきてくれてありがとう。

醒嵐のみんなが大好きだ。醒嵐の嵐を巻き起こす。

醒嵐団長 中川結衣

爛瑰

俺たち爛瑰は、豪華絢爛をモットーに強く熱く、そして豪華に練習を積み重ねてきた。

天目山を制するため、どんな努力も欠かさない仲間を信じ、己を超える。

爛瑰のみんな、今までついてきてくれてありがとう。最後まで精一杯ともに戦おう。

そして、この大地を爛瑰一色に染めてやる。爛瑰革命はもう始まっている。今から俺たちの Show Time だ。

爛瑰団長 祖父江莉子



実行委員長のことは

実行委員長 3-5 鈴川 葵美

実行委員長として前に立って活動してみ、改めて東中生はすごいなと感じることができました。全員が足と腕を大きく上げて行進し、開会式では人の話を真剣に聞いていました。全員が気持ちを一つにすることができるのがすごいと思いました。

私は、団の中では太鼓の担当で団を引っ張ることができました。醒嵐は思うような結果が残せなかったけど、今までの中央練習ではどの団よりも走っていたと思っています。この気持ちを忘れずに、次の行事でも、団で協力して取り組めるといいなと思いました。

これからは合唱コンなどの行事だけでなく、一日一日を大切に、3分前着席や声かけなど、当たり前前を当たり前に行えるようにしていきたいです。そうすることが、クラス全員の団結につながっていくと思います。これからも東中生みんなと頑張りたいたいと思います。

競技の部 優勝 団長のことは

薔鮫 団長 3-1 麓 凱生

「優勝よりもいいものがある」僕が1年生の時に担任の先生がよく言っていました。

結果は、競技の部優勝、応援の部準優勝。

僕たちが目指すW優勝にはあと一步届きませんでした。しかし、僕自身は2つ手に入れたものがあります。

1つ目は感謝です。僕たち団長だけでは、体育大会を成功させることなんて不可能でした。最後までついてきてくれた薔鮫のみんな、支えてくれた先生方、そしてともに競い合った醒嵐、爛魂、豹燐、麗舞、全ての人たちに感謝しています。

もう1つは、東中生みな同じだと思います。最高の思い出を得ることができたことです。めちゃくちゃ喜んだこと、悔しかったこと、声が枯れるぐらい叫んだこと。そして壇が一つになって燃えることができたこと。些細なこと、大きなことその一つ一つが僕の最高の思い出です。

最高の思い出をありがとう。